

# 用語解説

## [あ]

### ●雨水整備率

雨水整備済区域の面積／雨水整備対象の面積

・整備済区域・・・

5年に一度の大雨（1時間に約50mmの降雨）又は10年に一度の大雨（1時間に約53mmの降雨）に対して浸水対策が完了した区域

・雨水整備対象区域・・・

主に山手部の傾斜地を除いた市街地

### ●雨水滞水池

合流式下水道では雨の降り始め（降雨初期）の下水は汚濁が著しく、未処理のまま川や海に放流されると水質に悪影響を及ぼす為、未処理のまま放流しないように一時的に貯めておく施設。

### ●雨水調整池

雨水を一時的に貯留し、流量を調整することで、下流の河川などの流下能力を補完するための施設。

### ●応急給水拠点配水池

大規模な地震による広範囲な断水に備えて、全市民7日分の飲料水を確保する応急給水拠点のうち、以下の7箇所の配水池をいう。（大谷配水池、小森江配水池、高見配水池、沼配水池、日峰配水池、藤ノ木配水池、山ノ神第1配水池）

### ●大口使用者特割制度

過去10年間で水道水を3,000m<sup>3</sup>/月以上使用した実績のある大口使用者について、個別に基準水量を定め、基準水量を超える部分の水道水を低額な単価で提供する契約制度。

### ●汚濁負荷量

排水される汚濁物質量をいい、水量と汚濁物の濃度を乗じて求めた汚濁量。主として、BOD、COD、SSの1日当たりのトン数で表される。

### ●汚泥燃料化

下水汚泥燃料化は、乾燥または炭化プロセスを利用し、下水汚泥から固形燃料を製造する。

### ●遠賀川水系水質汚濁防止連絡協議会

国土交通省遠賀川河川事務所が事務局で、遠賀川水系の水質を調査し、実態を把握するとともに、汚濁の機構を明らかにし、河川管理上あるいは生活環境上必要な水質管理の方法並びに汚濁対策について検討し、水質改善の実効を上げることを目的としている。

この協議会は、幹事会、委員会及び流域総合浄化対策推進部会からなり、流域総合浄化対策推進部会は、地区ごとの推進部会から構成されている。本市は、北九州地区推進部会会長として、地区の取りまとめを行っている。

### ●遠賀川水系水道事業者連絡協議会

遠賀川水系から利水する流域16市町の水道事業者および1民間事業者により構成され、遠賀川水系の水質調査、水質保全および水道の水質管理技術の向上など、安全な水道水の確保に資することを目的とした協議会。主な事業としては、遠賀川の水質汚濁調査や浄水処理技術などの水道に関する情報交換、水質保全事業に関する協力などを行っており、現在、本市上下水道局内に事務局が置かれている。

●温室効果ガス

地球温暖化を引き起こす温室効果を有するガスの総称で、二酸化炭素、メタン、フロンが代表的なもの。

[か]

●基幹管路

本市では、次の3つを「基幹管路」と定義している。

① 導水管・・・

水源から浄水場（飲み水を造るところ）まで水を送る水道管

② 送水管・・・

浄水場から配水池（飲み水を貯めるところ）まで水を送る水道管

③ 配水本管・・・

配水池から各家庭に水を送る水道管のうち、配水支管※へ輸送・分配する機能を持つ主要な水道管

●企業債

地方公営企業が行う建設、改良などに要する資金に充てるために起こす地方債。企業債の発行後、各事業年度に支出する元金の償還額または一定期間に支出する元金償還金の総額を企業債償還金という。

●（株）北九州ウォーターサービス

市民の重要なライフラインである上下水道施設の効率的・安定的な運営、水道事業の広域化や海外水ビジネスへの対応のため、市と一体的な取組みを行う外郭団体として、平成 27 年 12 月に市が最大出資者となって設立した株式会社。

●北九州市下水道化学物質管理計画

「特定化学物質の環境への排出量の把握など及び管理の改善の促進に関する法律」に

基づき、平成 23 年に策定した 10 ヵ年計画。本市の下水道における化学物質の量と挙動を把握し適正に管理するための取組みを定めたもの。

●北九州市小倉都心部浸水対策推進プラン

小倉都心部において、近年多発するいわゆる「ゲリラ豪雨」による浸水被害に対し、住民が安心して暮らせるよう、関係分野の行政機関や住民などが連携して、浸水被害の軽減を図るために実施する計画。

●北九州市上下水道モニター（上下水道モニター）

上下水道事業に対する理解と信頼感を深めることを目的として、上下水道事業の対象区域の住民から公募を行い、勉強会や施設見学会を実施。

●北九州市地域防災計画

市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、北九州市防災会議が本市の地域にかかわる災害の対策について、災害の予防、災害応急対策及び災害復旧・復興についての事項を定めた計画。

●下水道 B C P（Business Continuity Plan）

地震により下水道施設などが被災した場合でも、下水道が果たすべき機能を継続的に確保するため、下水道施設が復旧するまでの間において、代替手段により同様の機能を提供するための計画。

●広域避難地

地震などによる災害が発生した場合に避難する場所。概ね 10 ヘクタール以上の都市公園など。

●更生工法

道路を掘削せずに、既設下水道管の内側に新たな管渠を築造する工法。

●合流式下水道

汚水と雨水を同一の管路で下水処理場まで排除する下水道。

[さ]

●施設の長寿命化

既存ストックを長期にわたり活用するために、予防保全的な管理、修繕、あるいは部分取替などにより、耐用年数の延伸を図ること。

●重要な管渠

防災拠点や避難所など(北九州市地域防災計画に位置付けられた対策部、医療施設、小学校、市民センターなどの避難所、都市公園などの避難地)と浄化センターを結ぶ管渠や、緊急輸送道路、軌道、避難道路下に埋設された管渠。

●小規模貯水槽水道

水道水のみを水源とした小規模な貯水槽(貯水槽の有効容量が 10m<sup>3</sup>以下)を有する施設。

●初期給水拠点

初期給水拠点とは、応急給水拠点のひとつで、災害などにより断水が発生したときに、速やかに応急給水活動を行う場所。

●ジョブローテーション

職員の能力開発のために、人材育成計画にもとづいて定期的に職場の異動や職務の変更を行う「戦略的人事異動」。

●水槽式給水

受水槽などの貯水槽を経由して水道水を供給する方式。

●水道トライアングル

事故や災害時でも安定した給水を行うため、穴生浄水場と本城浄水場、さらに井手浦浄水場の3つの基幹浄水場を結ぶ送水システムのループ化を行うこと。これにより、浄水場間のバックアップ機能の強化が図られる。

●水道用水供給事業

水道事業者に対して、水道用水を供給する事業。例えば「水道水の卸売り」のようなもの。本市は、宗像地区事務組合(宗像市・福津市)、古賀市、新宮町、岡垣町、香春町の3市3町へ供給を行う事業。

●水防法

洪水又は高潮に際し、水災を警戒し、防御し、及びこれに因る被害を軽減し、もって公共の安全を保持することを目的として制定された法律。平成27年度に一部改正された。

●周防灘流域別下水道整備総合計画

水質環境基準が設定されている水系について、下水道法に基づき策定される下水道整備に関する総合的な基本計画。

周防灘の水質環境基準点

基準値

全窒素 0.3 mg/ℓ 全りん 0.03 mg/ℓ

測定値(H2O)

全窒素 0.18mg/ℓ 全りん 0.02 mg/ℓ

●世界の環境首都

本市は市民・NPO、事業者、行政などのあらゆる主体が協働して、平成16年に「環境首都グランド・デザイン」を策定し、人類の生存と将来をおびやかす地球環境の問題に全力をあげて取組み、環境首都として世界に認められる都市を目指している。

### ●送水管

浄水場で浄化された水を配水池（浄水を一時蓄える大型のタンク：北九州市の場合コンクリート構造物が多い）まで送る水道管。

## [た]

### ●耐震診断

既存の建物に対して、調査や最新の基準に従った設計計算（再計算）により、地震に対するの安全性を評価すること。

### ●地球温暖化

大気中の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）などの温室効果ガスが、人間の経済活動などに伴って増加する一方、森林の破壊などによってCO<sub>2</sub>の吸収が減少することにより、地球全体の気温が上昇する現象。

### ●貯水槽水道

水のみを水源とした、水槽式給水を採用する施設の法律上の呼び方。

貯水槽の有効容量が 10m<sup>3</sup> 以下の小規模貯水槽水道と 10m<sup>3</sup> を超える簡易専用水道がある。

### ●直結式給水

水道水を配水管から蛇口まで直接供給する方式。

### ●導水管

ダムや川から取水した原水を浄水場（原水を浄化する施設）まで送る水道管。

## [は]

### ●バイオマス

家畜排せつ物や生ゴミ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源。

### ●配水管

配水池から各家庭や建物への給水管に分歧させるため、道路下に網目状に配置された水道管。

### ●配水管理システム

「マッピングシステム」と「ブロックデータ監視システム」を組み合わせて、漏水事故の早期発見や配水管の効率的な維持管理をするシステム。

#### ・マッピングシステム・・・

地図上で、埋設されている水道管の情報を管理するシステム。水道管の情報とは、布設位置や布設年度、口径、漏水事故などの事故歴、工事の計画など。その他、給水に関する情報も管理している。

#### ・ブロックデータ監視システム・・・

本市の給水区域を 88 のブロックに分け、それぞれのブロックごとに流量や水圧、水質をリアルタイムで監視しており、異常時（漏水事故など）には、即座に対応することができる。また、このシステムを利用して、効率的な漏水調査も行っている。

### ●配水支管

配水池から各家庭に水を送る水道管のうち、配水本管から分歧し、各家庭への給水分岐を行うための水道管。

### ●排水設備

下水を公共下水道に流出させるために必要な排水管、その他の排水を行うための施設で、土地、建物などの所有者が設置し、管理するもの。

### ●配水ブロック

水量・水圧を管理するために、地形条件などを考慮し、配水区域を分割したもの。本市は給水区域全体を 88 の配水ブロックに分割して管理を行っている。

●バックアップ機能

漏水事故などの非常時に備えて、水道水の応援体制を確立すること。具体的には、導・送水管路のループ化や2条化、配水ブロック間の相互融通などがある。

●分流化

合流式下水道を分流式下水道に造り変えること。既存の合流管を雨水管とし新たに汚水管を布設する方法と、新たな雨水管を布設し既設の合流管を主として汚水排除に用いる方法がある。

●分流式（下水道）

汚水用管路と雨水用管路の2つを埋設し、汚水は下水処理場へ、雨水は川や海に直接放流する下水道。

●包括業務委託

地方公共団体が行政責任を果たす上で、必要な監督権などを留保したうえで、その事務を包括的に民間企業、外部の団体及び個人などに委託すること。

●北部福岡緊急連絡管

福岡県西方沖地震のような自然災害及び施設事故などに対する危機管理対策のため、北九州市と福岡都市圏を緊急連絡管で結び、緊急時に水道水を相互融通することで、安全で安心なライフラインの確保を図るもの。

[ま]

●水安全計画

WHOの飲料水水質ガイドラインをもとに、食品の衛生管理の方法として開発されたHACCP（ハサップ）の考え方を組み込み、常に信頼性（安全性）の高い水道水の供給を確実にする水道システムを構築するための計画。

[や]

●有収水量

料金徴収の対象となった水量。

●有収率

料金徴収の対象となった水量（有収水量）を給水量で除した比率。

[ら]

●累積資金剰余

資金収支の累積剰余額を表すものであり、基本的には流動資産が流動負債を超える額をいう。

●ループ化

市内の主要な送水管を他系統と環状につながる合わせること。これにより、主要送水管路のある箇所でも事故が発生しても、別の系統を使用して送水が可能となるため、大幅な事故対応能力の向上が図られる。

[A]

●AM（アセットマネジメント）

資金調達、会計手法から、施設、組織・人的資源などの全てを対象に、長期的視点に立って、効率的、効果的に管理・運営する体系化された実践活動・手法をアセットマネジメントという。

## [L]

### ●LCC（ライフサイクルコスト）

製品や構造物などの費用を、調達・製造～使用～廃棄の段階をトータルして考えたもの。初期建設費であるイニシャルコストと、エネルギー費、保全費、改修、更新費などのランニングコストにより構成される。

## [P]

### ●PDCAサイクル

生産管理や品質管理など管理業務を計画とおりスムーズに進めるための管理方法の一種で、サイクルを構成する4段階のPlan（計画を立てる）、Do（実行する）、Check（点検・評価する）、Action（改善策を講じる）の頭文字をつなげたもの。このプロセスを繰り返し、品質の維持・向上および継続的な業務改善を推進するためのマネジメント手法をいう。



## 北九州市上下水道事業中期経営計画

平成28年4月発行

発行・編集 北九州市上下水道局総務経営部経営企画課

〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号

TEL (093) 582-3135

FAX (093) 582-3100

ホームページアドレス

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/>